

平成29年度道徳年間指導計画

第3学年

	月日	主 題 名	内容項目	資 料 名	出典	時数	ね ら い	主題構成の理由	関連する 教育活動や体験活動	その他（他の教師との 連携、地域人材の活用）
1	4/13	強い意志	A-(4)	作文		1	3年生になり、最高学年として責任感や自分の進路を自らの力で考える心構えを持たせる。	3年生の自覚を持ち、自分の進路や生き方を考える時期に来ていることを強く感じる。	学級開き	
2	4/20	望ましい生活習慣	A-(2)	整理と整頓	新しい生活	1	身の回りを美しく整える事が人格の現れとなることや、習慣化される事の大切さに気付かせる。	身の回りの整理整頓からすべてが始まることを意識させ、これからの生活学習面につなげる。	学級組織作り	
3	4/27	礼儀	B-(7)	立ち読みお断り	道標	1	礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた言動のとれる判断力を高める。	自分の行動に責任を持つことの重要性を知り、人に対する思いやりを知る。		
4	5/11	自分らしさを求めて	A-(3)	わたしの生き方	道標	1	他者の生き方を参考にしながら、自分の個性を伸ばし、充実した生活を求める態度を養う。	家族で将来のことなど話す機会を持てるようなムード作りする。	家庭訪問後の生活指導	
5	5/18	集団生活の向上	C-(15)	エゴイスト	道標	1	利己心や狭い仲間意識を取り除いて、集団生活の向上に努める態度を養う。	利己的な考えや行動が集団の力を弱めていることを知り集団全体に積極的に役立とうとする心を持たせる	修学旅行事前指導	
6	5/26	強い意志	A-(4)	目標を目指してやり抜く強い意志を	私たちの道徳	1	偉人の言葉から目標を立てて取り組むことの大切さについて学び、将来に向けた目標を段階を追って考え、目標達成のための強い意志を育てる。	目標を立てて取り組む大切さを学び、目標を達成するために自分が何をすべきか考える力を育てる。	修学旅行事後指導	
7	6/1	勤労の心・社会への奉仕	C-(12)	僕の仕事は便所掃除	道標	1	勤労の精神を重んじる生き方を基に社会への奉仕の気持ちを深め、実践しようとする態度を養う。	汚い仕事はしないというのではなく、どんな仕事にも誇りを持ち、また理解する心を作りる。	美化指導	
8	6/8	謙虚な心で	B-(9)	「関係ない」ということば	あすを生きる	1	他の存在とそのよさを認め、相手の考えや立場を理解しながら、謙虚な心で他の人と接する態度を養う。	言葉によって冷たい人間関係が普通になっている社会では、全体が行き詰まることを学ぶ。	いじめ防止強化週間	
9	6/15	正義を重んじ公正・公平な社会を	C-(11)	いじめ撲滅宣言	私たちの道徳	1	身近で起こりえるいじめ問題について考え、それを解決するために自分自身ができること、日頃から持つべき心構え・態度を養う。	いじめ撲滅宣言、いじめの形態調査から一人一人がいじめを解決するために何ができるかを考える。		
10	6/29	思いやり・人間愛	B-(6)	車イスの少年	道標	1	悩みや苦しみを共有し、相手を真に思いやる心を育て、共に向上しあえる人間関係を培う。	普段の生活で感じていることを出し合い、より良い社会を築く意識を持つ。		
11	7/6	友情に支えられて	B-(8)	埴生の宿	明日をひらく	1	相手の人間的な成長を願って、ともに励まし合い支え合い、よりよい友達関係を築いていこうとする態度を育てる。	信頼を基盤とした友情を築こうとする態度を育てる。		
12	7/13	理想の実現・真理愛	A-(5)	《人物探訪》柳田國男「日本民俗学の創始者」	心がややく	1	困難を乗り越える精神力を持ち、理想の実現を目指して自己の人生を切り開いていく態度を育てる。	決して諦めずにやり抜くことが、いかに大切で素晴らしいことか感じさせる。	夏休み前の事前指導	

	月日	主 題 名	内容項目	資 料 名	出典	時数	ね ら い	主題構成の理由	関連する 教育活動や体験活動	その他（他の教師との 連携、地域人材の活用）
	8月			心かがやく			家に持ち帰って家族と一緒に読むことにより、兵庫ゆかりの人物や地域の特性などについて考える。		夏休み	
13	9/7	思いやり・人間愛	B-(6)	あるお母さんの話	ともだち	1	相手の障害の有無や社会的立場などにとらわれず、相手の人格を認め誠実に生きていこうとする態度を育てる。	人としての苦しみを見て見ぬふりでなく、自分のこととして感じられる気持ちを作る。		
14	9/14	自主・責任	A-(1)	責任というもの	道標	1	自主的に考え、行動し、結果に責任を持つ姿勢を養う。	自分の行動に責任を持ち、人のせいにならない、投げ出さない生き方につなげる		
15	9/21	生命の尊厳	D-(19)	手塚作品を貫くもの 一手塚治虫一	心かがやく	1	作品のテーマとして生命にこだわり続けた手塚さんを通して、生命の尊厳を理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。	生と死の境目を経験した主人公の気持ちを考えさせることで、生きていることの有り難さを感じさせる。		
16	9/28	健全な異性間	B-(8)	わたしの考え	道標	1	人間として男女が相互に尊敬し合う態度を養う。	好き嫌いの感情だけでなく互いに尊重し合い、助けあえる関係を作れる土台を作る。	進路指導 第一回実力テスト 体育大会 (むかで練習)	
17	10/5	働く尊さ	C-(13)	天職って、なんだろう	あすを生きる	1	勤労の貴さや意義の理解を通して、職業についての正しい考えを身に付け、公共の福祉と社会の発展に努める意欲を育てる。	進路に向けて自分の将来の仕事を考える機会にする。		
18	10/19	感謝の心	B-(6)	私の宝物	市内 共通 資料	1	今の自分のおかれている境遇に不満を抱くのではなく、「ありがたい」と感謝する気持ちを養う。	様々な立場や境遇の人達の宝物を読み、自分はどうなにかに恵まれているのかに気付く、今の環境や周りの人達に感謝の念を抱かせる。	進路指導	
19	10/26	平和な世界に	C-(18)	日本人の自覚をもち世界に貢献する	私たちの 道徳	1	世界が抱える問題について考え、自分たちが平和な世界を築くために貢献できることについて考える態度を育てる。	日本人として、世界の人々が平和に暮らせるために何ができるのかを考え続け、行動し続けていこうとする態度を育てる。	合唱練習 文化発表会 第二回実力テスト	
20	11/2	愛校心	C-(15)	やっぱり私の学校	プリント	1	学級や学校の一員としての自覚を持ち、よりよい校風を樹立しようとする心情を育てる。	自分の学校を愛し、自分を愛し、より良い環境を自ら作る気持ちを作る。		
21	11/9	自己を見つめる	A-(3)	ぼくにもこんな「よいところ」がある	明日をひらく	1	自分自身を深く見つめ、自己のよい面に目を向け自己理解・自己受容を深めるとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。	自己のよい面に着目するようにして、自己受容・自己理解を促す。	いじめ防止強化週間	
22	11/16	正義の強さと大切さ	C-(11)	卒業文集最後の二行	心つないで	1	いじめの加害者が将来にわたって抱える苦悩を知り、正義の強さと大切さにふれ、差別や偏見のない社会を実現しようとする態度を育てる。	正義感にあふれ、差別や偏見を許さない心情を育てる。		
23	11/30	郷土愛	C-(16)	ふるさとの発展のために	私たちの 道徳	1	地域社会の一員として郷土を愛し、大切にすることを育て、先人たちが地域の発展のために働いたことを学ぶ。	ふるさとの発展に貢献してきた先人について学び、これから自分が地域の発展にどのように携わっていくのかを考えさせる。	進路指導	

	月日	主 題 名	内容項目	資 料 名	出典	時数	ね ら い	主題構成の理由	関連する 教育活動や体験活動	その他（他の教師との 連携、地域人材の活用）
24	12/7	正義	C-(11)	いじめ、いやがらせ問題	自主教材	1	いじめ(いやがらせ)が人権侵害であることを理解させ、いじめを「しない・させない」態度を育てる。	いじめを許さないという強い意志を持ち、いじめに立ち向かうことの大切さについて考えさせる。		
25	12/14	公德心	C-(10)	小さな紳士たち	プリント	1	社会人として、基本的なマナーや節度と調和のある生活を大切にする態度を養う。	マナーや礼儀が守れてこそ取り巻く環境や、人間関係が作れることを考え直す。	進路指導	
26	12/21	生命の尊重	D-(19)	生命の尊重	市内共通資料	1	命は人に与えられたかけがえのないものであることに気付かせ、生命を尊重する心情を養う。	自分を傷つけたり人を傷つけたりしないように生命の尊さを考えさせる。		
27	1/18	震災からの教訓 強さ・気高さ・生きる喜び	D-(22)	語りかける目	心かがやく	1	死を目の前にした母の心、母の命を助けることができず遺骨を見守る少女心の深さを感じさせることにより命の重みを受け止めさせる。	命の重みを感じさせることにより、「生きる」ということを考えさせる。	阪神大震災追悼 防災訓練	
28	1/25	自然の愛護	D-(20)	白神山地	あすを生きる	1	日本の優れた自然環境についての理解を通して悠久の時間の流れを大切にしようとする心情を育てる。	環境問題などマイナス面ではなく、日本が本当に大事にしたい自然の豊かさから考えさせる。		
29	2/1	畏敬の念	D-(21)	不思議な光景	道標新聞記事	1	人間の力を超えたものの存在を知り、自然に対する畏敬の念を持たせる。	人間の力の及ばない神秘性に気づかせ、生かされていること、人間らしく生きる大切さを考えさせる。		
30	2/8	家族の一員としての自覚を	C-(14)	一冊のノート	私たちの道徳	1	家族の思いを感じ取り、家族の一員として自覚と責任を持つと共に、充実した家庭生活と築く態度を培う。	ノートに綴られた祖母の思いに触れ、自分が気づかないところで家族に大切にされていることを考えさせる。		
31	2/15	家族への思い	C-(14)	赤とんぼー三木露風ー	心かがやく	1	家族の思いを感じ取り、家族の一員として自覚と責任を持つと共に、充実した家庭生活と築く態度を培う。	「夕焼け小焼けの赤とんぼ」の歌詞に込められた家族への思いを知り、自分と重ねて考えさせる。		
32	2/17	国境を超えた愛	C-(18)	六千人の命のピザ	明日をひらく	1	人間愛の精神を深く自覚し、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を深める。	世界の平和と人類の幸福に貢献しなければならないという決意を固められるようにする。	入試を前にして	
33	2/22	愛国心	C-(17)	伝統をつむぐー赤穂楯通織りー	心かがやく	1	国民としての自覚を高め、郷土を愛する気持ちを育てる。	赤穂楯通織りに携わる人々の生き方から郷土に対する考えを学び、郷土を愛すること考えさせる。		
34	3/1	規則の意義	C-(10)	元さんと二通の手紙	市内共通資料	1	秩序と規律ある社会を築くために、法やきまりを守る態度や課せられた義務を確実に遂行しようとする意欲を育てる。	きまりを守ることは、厳しいものであることを知り、情に流されるものでないことを考える。	卒業式練習	
35	3/8	礼儀の心	B-(7)	「いき」な江戸しぐさ	あすを生きる	1	礼儀の意義を理解し、互いの人格を尊重し、時と場に応じた適切な言動がとれるようにする。	本当に道徳的な人間とは粋な振る舞いができることである。将来に向けてこれを知らせる。	卒業式 奉仕活動（清掃）	